

営農計画試算ツール（FSDBout） 操作マニュアル （暫定版）

平成19年3月

中央農業総合研究センター生産支援システム研究チーム
岩手県農業研究センター企画経営情報部農業経営研究室

目次

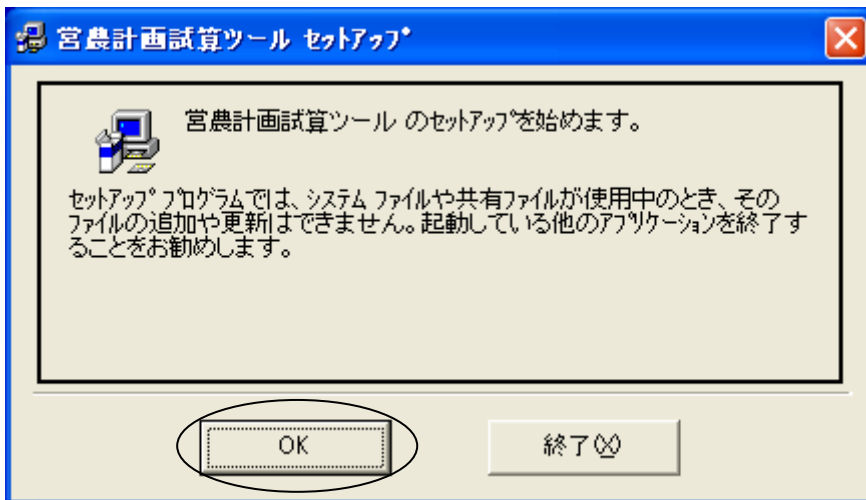
1. インストールとアンインストール	1
1.1. インストール方法.....	1
1.2. アンインストール方法.....	2
2. 操作方法.....	3
2.1. ファイル選択.....	3
2.2. 営農計画試算ウィザード 土地・労働力の設定	4
2.3. 営農計画試算ウィザード 使用機械の確認・絞込.....	6
2.4. 営農計画試算ウィザード 機械	8
2.5. 営農計画試算ウィザード 施設	10
2.6. 進捗状況表示.....	12
3. 留意事項.....	13

1. インストールとアンインストール

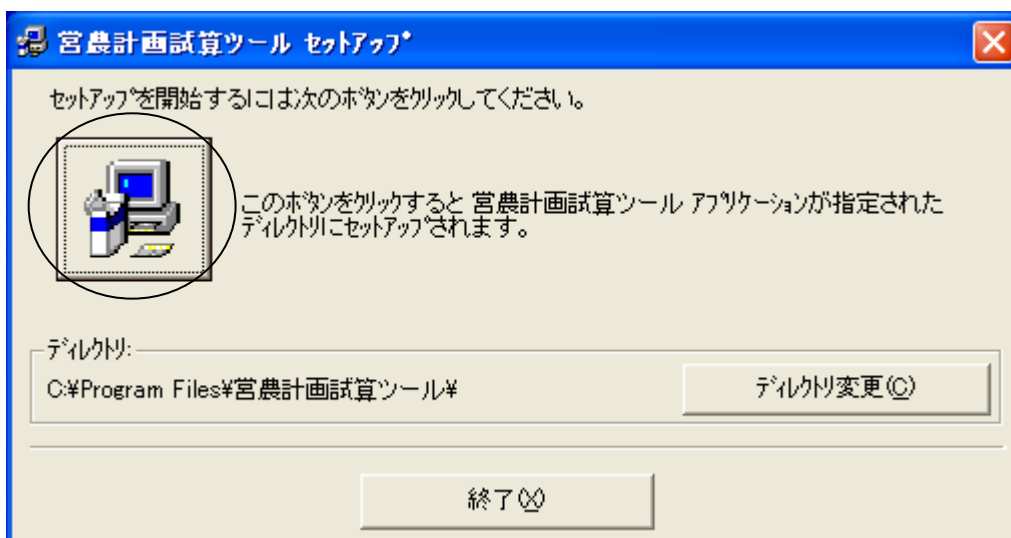
1.1. インストール方法

営農計画試算ツールが既にインストールされている場合には、一度アンインストールを実施してから再インストールを行ってください。

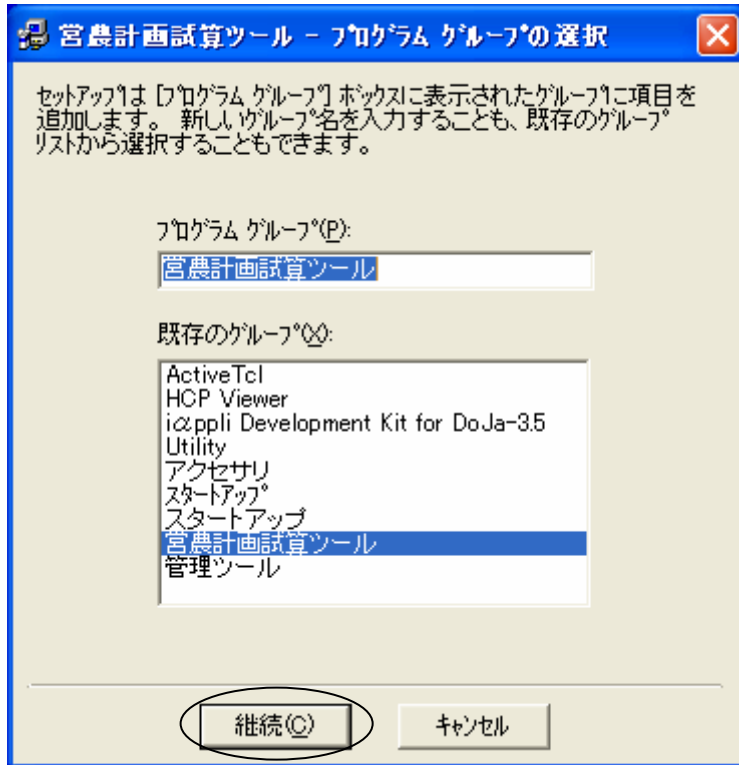
- ① 「CD_ROM:\¥FSDBout¥Setup¥setup.exe」 を実行し、「OK」 ボタンを押下します。



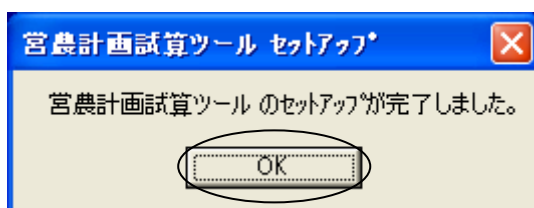
- ② セットアップを実行します。
インストールディレクトリ（フォルダ）を変更したい場合は、「ディレクトリ変更」ボタンを押下し、適宜変更してください。



- ③ スタートメニューへの登録設定を行い、「継続」ボタンを押下します。



- ④ インストールが完了します。
「OK」ボタンを押下して、セットアップを終了してください。

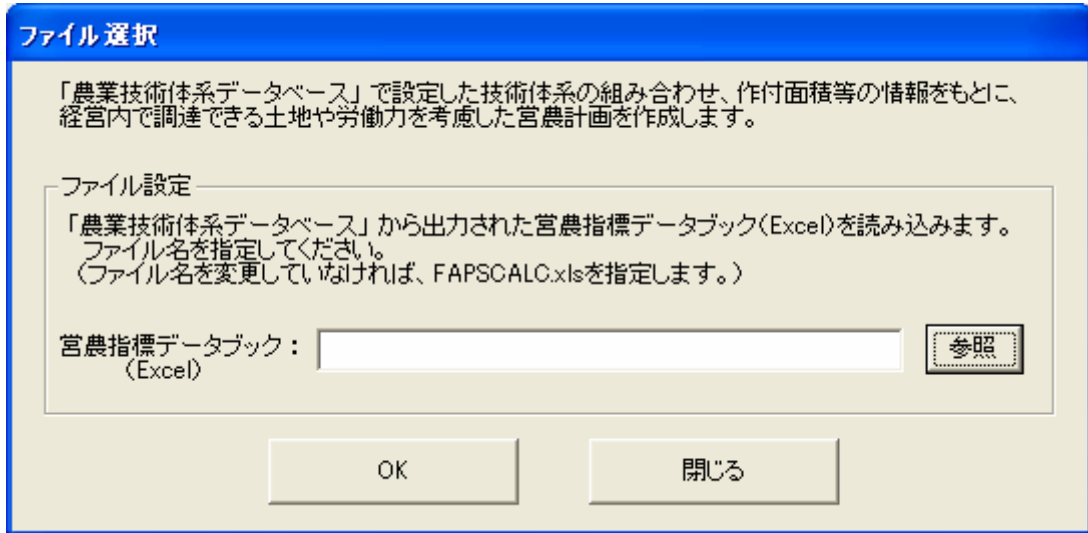


1.2. アンインストール方法

営農計画試算ツールのアンインストールは、「コントロールパネル」－「プログラムの追加と削除」から行ってください。

2. 操作方法

2.1. ファイル選択



入力ファイルを指定します。

農業技術体系データベースで作成された Excel ファイルを指定してください。

- 営農指標データブック (Excel)
入力ファイルを指定／表示します。
「参照」ボタン押下により、ファイル選択ダイアログが開き、ファイルを指定することができます。
- 「OK」ボタン
営農計画試算ウィザードを開始します。
- 「閉じる」ボタン
営農計画試算ツールを終了します。

2.2. 営農計画試算ウィザード 土地・労働力の設定

営農計画試算ウィザード - 土地・労働力の設定

経営内で調達できる土地、労働力の設定を行います。
 まず、選択した技術体系毎の作付面積のうち、自作地面積を入力してください。
 続いて、経営内の労働条件(労働者数、1日当たり労働可能時間上限、1旬当たり労働可能日数上限)を入力します。

作付計画:

No	作付面積	うち自作地	うち借地	技術体系名
1	3000.0 a	3000.0 a	0.0 a	ID=1: 水稲(ひとめぼれ・あきたこまち, 30a区画・移植, 5ha規模, 540kg/10a, 岩手:北)
2	1500.0 a	1500.0 a	0.0 a	ID=9: 小麦(ナンブコムギ, 水田転作, 15ha規模, 360kg/10a, 岩手:北上川中・下流域)
3	100.0 a	100.0 a	0.0 a	ID=14: レタス(ステディ, 6月どり, 全面マルチ, 1ha規模, 3500kg/10a, 岩手:東北・高冷)
4	100.0 a	100.0 a	0.0 a	ID=26: だいこん(貴宮, 8月どり, 1ha規模, 4000kg/10a, 岩手:東北(高冷地を除く))
5	20.0 a	20.0 a	0.0 a	ID=38: グリーンアスパラガス(ウェルカム, 露地普通(定植1年目), 20a規模, kg/10a, 岩)

労働力:

経営内労働者数	1日当たり労働可能時間上限	1旬当たり労働可能日数上限	1旬当たり労働可能時間上限
2 人	10 時間/日	9 日/旬	180 時間/旬

キャンセル <戻る(B)> 次へ(N)> 完了(F)

経営内の自作地面積、及び労働力の設定を行います。

- 作付計画
入力ファイルから読み込んだ技術体系情報を表示します。
- 「自作地」入力ボックス
作付面積のうち、自作地面積を入力します。
0 以上かつ作付面積以下の設定が可能です。
借地面積 = 作付面積 - 自作地面積 として表示します。
- 労働力
経営内労働力の設定エリアです。

- 「経営内労働者数」入力ボックス
経営内の労働者数を入力します。0以上の設定が可能です。
- 「1日当たり労働可能時間上限」入力ボックス
労働者の1日当たりの労働可能時間上限を入力します。
0以上かつ24時間以下の設定が可能です。
- 「1旬当たり労働可能日数上限」入力ボックス
労働者の1旬当たりの労働可能日数上限を入力します。
0以上かつ11日以下の設定が可能です。
- 1旬当たり労働可能時間上限
経営内の1旬当たりの労働可能時間上限を表示します。
$$1 \text{ 旬当たり労働可能時間上限} = \text{経営内労働者数} \times 1 \text{ 日当たり労働可能時間上限} \\ \times 1 \text{ 旬当たり労働可能日数上限} \text{ として表示します。}$$
- 「キャンセル」ボタン
ウィザードを終了し、【ファイル選択】画面に戻ります。
- 「次へ」ボタン
次ウィザード【使用機械の調整】へ進みます。

2.3. 営農計画試算ウィザード 使用機械の確認・絞込

営農計画試算ウィザード - 使用機械の確認・絞込

作付計画:

No	作付面積(a)	技術体系名
1	3000	ID=1:水稲(くもめぼれ・あきたこまち, 30a区画・移植, 5ha規模, 540kg/10a, 岩手:北上川流域)
2	1500	ID=9:小麦(ナンブコムギ, 水田転作, 15ha規模, 360kg/10a, 岩手:北上川中・下流域)
3	100	ID=14:レタス(ステディ, 6月どり, 全面マルチ, 1ha規模, 3500kg/10a, 岩手:県北・高冷地)
4	100	ID=26:だいこん(食富, 8月どり, 1ha規模, 4000kg/10a, 岩手:県北(高冷地を除く))
5	20	ID=38:グリーンアスパラガス(ウェルカム, 露地普通(定植1年目), 20a規模, kg/10a, 岩手:県下全域)

選択した技術体系で使用される全機械は[使用機械一覧]のとおりです。複数体系を組合せたときは、共通・類似機種で性能・型式等が異なる機械が複数表示されることがあります(【例】トラクタ(20ps)、トラクタ(30ps)の2つが表示される)。こうした場合、それぞれの機械の減価償却費が経費計上されるため、次の手順で代表機械に使用を絞込む必要があります。まず、[使用機械一覧(代表機械候補)]から、代表して使用する機械(償却費を計上するもの)を選択します。続いて、代表機械で代用可能な機械(償却費非計上)を[代用可能な機械候補一覧]から選択し、[代用]ボタンを押してください。

使用機械一覧(代表機械候補):

- グレイコンテナ(2t)
- グレイコンテナ(3t)
- コンバイン(3条, グレイタンク付)
- コンバイン(4条, グレイタンク付)
- セル成型用播種機
- ダイコンハーベスタ
- トラクタ(30ps)
- トラクタ(50PS)
- トラクタ20ps
- トラクタ40ps
- トラック(2t)
- トラック(4t, クレーン付)
- トラック2t
- トレンチャー カワベ TTS-43RF-6
- フォークリフト(0.9t)
- フロントローダ
- フロントローダ0.35m3
- ブロードキャスタ starMBC2040
- ブロードキャスタ(300L)
- ブロードキャスタ(600L)
- ブロードキャスタ300I
- ブロードキャスタ遠心300I
- ブームスプレーヤ500I
- ブームスプレーヤ400I
- ボトムブラウ
- ボトムブラウ1.6×2
- マニユアスプレッタ(1500kg) star TH
- マニユアスプレッタ(2000kg)
- マルチャー(1.5m) MRT1R

代用可能な機械候補一覧:

- グレイコンテナ(2t)
- グレイコンテナ(3t)
- コンバイン(3条, グレイタンク付)
- コンバイン(4条, グレイタンク付)
- セル成型用播種機
- ダイコンハーベスタ
- トラクタ(30ps)
- トラクタ20ps
- トラクタ40ps
- トラック(2t)
- トラック(4t, クレーン付)
- トラック2t
- トレンチャー カワベ TTS-43RF-6
- フォークリフト(0.9t)
- フロントローダ
- フロントローダ0.35m3
- ブロードキャスタ starMBC2040
- ブロードキャスタ(300L)
- ブロードキャスタ(600L)
- ブロードキャスタ300I
- ブロードキャスタ遠心300I
- ブームスプレーヤ500I
- ブームスプレーヤ400I
- ボトムブラウ
- ボトムブラウ1.6×2
- マニユアスプレッタ(1500kg) star TH
- マニユアスプレッタ(2000kg)
- マルチャー(1.5m) MRT1R

調整の状況:

代表する機械(償却費計上)
トラクタ(50PS)

↑↑↑↑
代用する機械(償却費非計上)
トラクタ(20ps)

代用

解除

機械を使用する技術体系のNo
25

機械を使用する技術体系のNo
1

キャンセル <戻る(B) 次へ(N) > 完了(F)

各技術体系で使用されている機械の中で、共通・類似機種で性能・型式等が異なる機械を、営農計画全体で使用する代表機械として設定します。

- 作付計画
技術体系情報を表示します。
- 使用機械一覧(代表機械候補)・代用可能な機械候補一覧
技術体系内で使用されている機械を一覧表示します。
代用する機械として設定された機械は表示されません。

- 機械を使用する技術体系のNo
【使用機械一覧(代表機械候補)】・【代用可能な機械候補一覧】の中から選択された機械を使用している技術体系のNoを表示します。
- 代表する機械
【使用機械一覧(代表機械候補)】にて選択された機械を、代表する機械として表示します。
- 代用する機械
代表する機械に対して、代用する機械として設定された機械を一覧表示します。
- 「代用」ボタン
【代用可能な機械候補一覧】にて選択された機械を、代用する機械として設定します。
- 「解除」ボタン
【代用する機械】にて選択された機械の設定を解除します。
- 「キャンセル」ボタン
ウィザードを終了し、【ファイル選択】画面に戻ります。
- 「戻る」ボタン
前ウィザード【土地・労働力の設定】へ戻ります。
- 「次へ」ボタン
次ウィザード【機械】へ進みます。

2.4. 営農計画試算ウィザード 機械

営農計画試算ウィザード - 機械

作付計画:

No	作付面積(a)	技術体系名
1	3000	ID=1:水稲(くもめまれ・あきたこまち, 30a区画・移植, 5ha規模, 540kg/10a, 岩手:北上川流域)
2	1500	ID=9:小麦(ナンブコムギ, 水田転作, 15ha規模, 360kg/10a, 岩手:北上川中・下流域)
3	100	ID=14:レタス(ステディ, 6月どり, 全面マルチ, 1ha規模, 3500kg/10a, 岩手:県北・高冷地)
4	100	ID=26:だいこん(真宮, 8月どり, 1ha規模, 4000kg/10a, 岩手:県北(高冷地を除く))
5	20	ID=38:グリーンアスパラガス(ウエルカム, 露地普通(定植1年目), 20a規模, kg/10a, 岩手:県下全域)

設定した営農計画において、必要となる機械一覧と必要台数は[使用機械一覧(絞込後)]のとおりです。
 [必要台数]は修正可能です。変更する場合は、[修正台数]欄に直接数値を入力してください。
 また、償却費の計算に使用する耐用年数を選択してください。

使用機械一覧(絞込後):

機械名称	旬別作業 時間上限	旬別機械 利用時間 最大値	必要 台数	修正 台数
グレイコンテナ(2t)	80	13.2	1	1
グレイコンテナ(3t)	80	4.05	1	1
コンバイン(3条, グレインタンク付)	80	131.4	2	2
コンバイン(4条, グレインタンク付)	80	29.4	1	1
セル成型用播種機	80	3.8	1	1
ダイコンハーベスタ	80	2.17	1	1
トラクタ(50PS)	80	67.5	1	1
トラック(2t)	80	17.7	1	1
トラック(4t, クレーン付)	80	8.55	1	1
トラック2t	80	15.04	1	1
トレンチャー カワベ TTS-43RF-6	80	4	1	1
フォークリフト(0.9t)	80	51.6	1	1
フロントローダ	80	12	1	1
フロントローダ0.35m3	80	2.3	1	1
ブロードキャスタ starMBC2040	80	0.4	1	1
ブロードキャスタ(300L)	80	23.1	1	1
ブロードキャスタ(600L)	80	3.15	1	1
ブロードキャスタ300I	80	0.36	1	1
ブロードキャスタ遠心300I	80	1.5	1	1
ブームスプレヤー500I	80	0.54	1	1

耐用年数:
 法定耐用年数で償却費を計算
 利用年数を法定耐用年数の
 1.5 倍として償却費を計算

【説明】
 営農現場では、機械を法定耐用年数で廃棄せず継続利用することが多くあります。例えば、実際の利用期間が法定耐用年数の1.5倍程度に達する事例もみられます。このように、機械の利用年数を変更して試算を行いたい場合、上下ボタンで数値を設定した上でラジオボタンを選択してください。

機械を使用する技術体系のNo
 1,2,3,4,5

キャンセル <戻る(B) 次へ(N) > 完了(F)

営農計画において必要となる機械とその台数を設定します。

- 作付計画
技術体系情報を表示します。
- 使用機械一覧(絞込後)
前ウィザード【使用機械の確認・絞込】における設定をもとに、営農計画で使用される機械(絞込後)を一覧表示します。
代用する機械として設定された機械は表示されません。
- 「修正台数」入力ボックス
使用する機械の台数を入力します。0以上かつ999以下の設定が可能です。

- 機械を使用する技術体系のNo
【使用機械一覧（絞込後）】の中から選択された機械を使用している技術体系のNoを表示します。
- 耐用年数
償却費の計算に使用する耐用年数を選択します。
法定耐用年数または実際の耐用年数の選択が可能です。
実際の耐用年数の場合、法定耐用年数の0.0～9.9倍の範囲で指定可能です。
- 「キャンセル」ボタン
ウィザードを終了し、【ファイル選択】画面に戻ります。
- 「戻る」ボタン
前ウィザード【使用機械の確認・絞込】へ戻ります。
- 「次へ」ボタン
次ウィザード【施設】へ進みます。

2.5. 営農計画試算ウィザード 施設

営農計画試算ウィザード - 施設

作付計画:

No	作付面積(a)	技術体系名
1	3000	ID=1:水稲(てんめいぼれ・あきたこまち, 30a区画・移植, 5ha規模, 540kg/10a, 岩手:北上川流域)
2	1500	ID=9:小麦(ナンブコムギ, 水田転作, 15ha規模, 360kg/10a, 岩手:北上川中・下流域)
3	100	ID=14:レタス(ステディ, 6月どり, 全面マルチ, 1ha規模, 3500kg/10a, 岩手:県北・高冷地)
4	100	ID=26:だいこん(倉宮, 8月どり, 1ha規模, 4000kg/10a, 岩手:県北(高冷地を除く))
5	20	ID=38:グリーンアスパラガス(ウェルカム, 露地普通(定植1年目), 20a規模, kg/10a, 岩手:県下全域)

設定した営農計画において、必要となる施設一覧と設置数は[使用施設一覧]のとおりです。
 [設置数]は修正可能です。変更する場合は、[修正設置数]欄に直接数値を入力してください。
 また、償却費の計算に使用する耐用年数を選択してください。

使用施設一覧:

施設名称	処理能力	旬別 処理量 最大値	設置数	修正 設置数
簡易パイプハウス	170 m2		222	2

耐用年数:

法定耐用年数で償却費を計算
 利用年数を法定耐用年数の
 倍として償却費を計算

【説明】
 営農現場では、施設を法定耐用年数で廃棄せず継続利用することが多くあります。例えば、実際の利用期間が法定耐用年数の1.5倍程度に達する事例もみられます。このように、施設の利用年数を変更して試算を行いたい場合、上下ボタンで数値を設定した上でラジオボタンを選択してください。

施設を使用する技術体系のNo

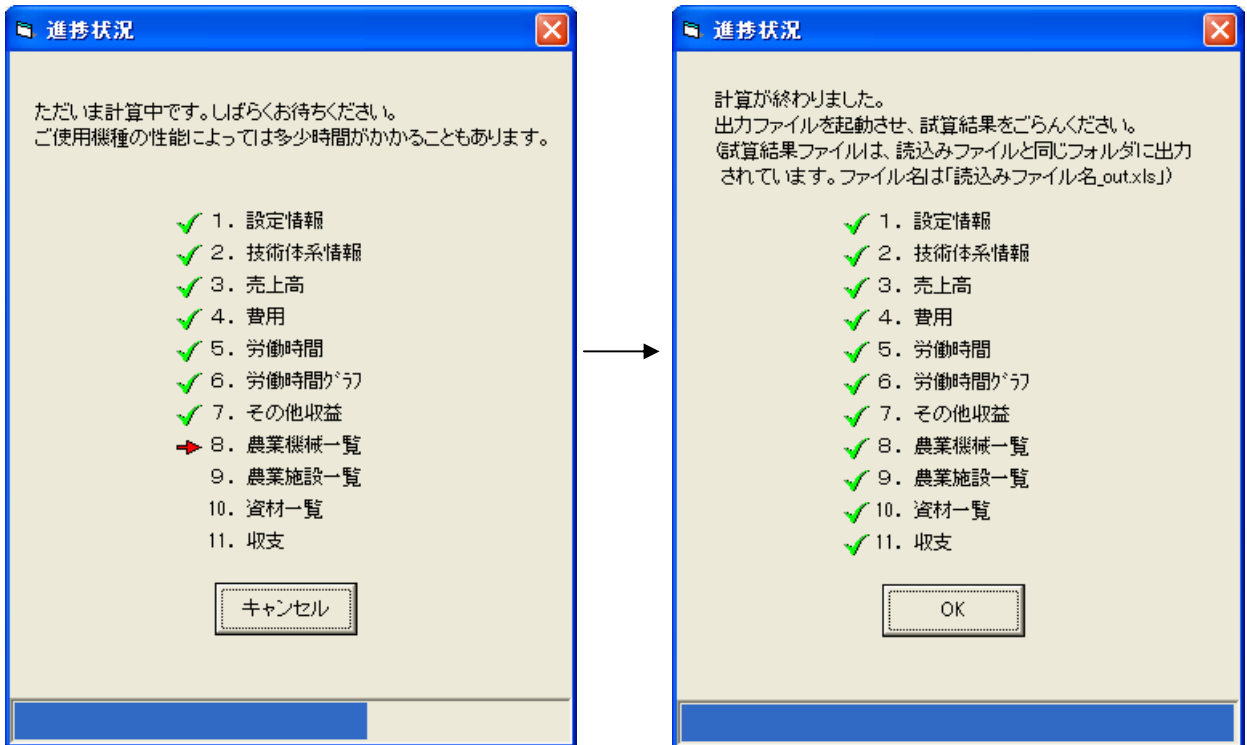
キャンセル < 戻る(B) 次へ(N) > 完了(E)

営農計画において必要となる施設とその台数を設定します。

- 作付計画
技術体系情報を表示します。
- 使用施設一覧
営農計画で使用される施設を一覧表示します。
- 「修正設置数」入力ボックス
使用する施設の設置数を入力します。0 以上かつ 999 以下の設定が可能です。

- 施設を使用する技術体系の No
【使用施設一覧】の中から選択された施設を使用している技術体系の No を表示します。
- 耐用年数
償却費の計算に使用する耐用年数を選択します。
法定耐用年数または実際の耐用年数の選択が可能です。
実際の耐用年数の場合、法定耐用年数の 0.0～9.9 倍の範囲で指定可能です。
- 「キャンセル」ボタン
ウィザードを終了し、【ファイル選択】画面に戻ります。
- 「戻る」ボタン
前ウィザード【機械】へ戻ります。
- 「完了」ボタン
ウィザードにおける設定を完了し、営農計画試算処理を開始します。
処理中は【進捗状況】画面を表示します。

2.6. 進捗状況表示



ツールの進捗状況を表示します。

- 「キャンセル」ボタン
処理を中断し、「閉じる」ボタンを表示します。
- 「閉じる」ボタン
前ウィザード【施設】へ戻ります。
- 「OK」ボタン
処理が終了すると表示されます。
押下すると営農計画試算ツールを終了します。

3. 留意事項

営農計画試算ツールにおける留意事項を示します。

(1) 営農計画ファイルの出力場所とファイル名

ツールにより作成された営農計画ファイルは、入力ファイルと同じディレクトリ（フォルダ）に [入力ファイル名_out.xls] として出力されます。

(2) ツールの複数起動防止

営農計画試算ツールは、同一マシン上において複数起動することはできません。

(3) ツール実行中における他の Excel ファイル操作

営農計画試算ツール実行中（ウィザード設定完了後の進捗状況表示中）は、他の Excel ファイルを起動しないでください。他の Excel ファイルが起動された場合、営農計画試算ツールは自動的に処理を中断します。

なお、営農計画試算ツール実行前に他の Excel ファイルを起動／操作していた場合は、処理は中断されません。営農計画試算ツールの実行と他の Excel ファイルの操作を並行して行いたい場合は、予め他の Excel ファイルを起動しておいてください。